

会員の発表論文目録

(二〇〇四年一月—二〇〇五年三月・前号までの補遺分)

日本史

上井久義

『上井久義著作集 第六卷 琉球の宗教と古代史の親族』(清文堂出版) 二〇〇五年一月

黒田一充

『祭祀空間の伝統と機能』(清文堂出版) 二〇〇四年二月
『海浜の聖地における祭祀——国東半島・武多都神社を中心にして』『関西大学博物館紀要』第一号(関西大学博物館) 二〇〇五年三月

千歳竜彦

『常陸野時間紀行』(『茨城の民俗』第四三号)(茨城民俗学会) 二〇〇四年二月

東洋史

岡田頭子(旧姓平)

翻訳 劉正 著「金文中の廟制に関する研究の一般的な見解と問題点」『中国思想における身体・自然・信仰——坂出祥伸先生退休記念論集——』(東方書店) 二〇〇四年八月

内野花

収蔵品紹介「関西大学博物館所蔵 羽間コレクション 打掛にみる文藝紋様」『関西大学博物館紀要』第一号(関西大学博物館) 二〇〇五年三月

塩卓悟

『宋代の食文化——北宋から南宋への展開——』『大阪市立大学東洋史論叢』(21世紀COEプログラム 別冊特集号「中国都市の時空世界」) 二〇〇五年三月

杉村伸二

『景帝中五年王国改革と国制再編』『古代文化』第五六巻第一〇号(古代学協会) 二〇〇四年一月

共同執筆「デジタル写真による馬圈湾遺址3D解析——辺境遺址調査における画像情報活用を試み——」『シルクロード学研究』第二二巻(シルクロード学研究センター) 二〇〇五年三月

長森美信

『一八世紀済州地域の凶年と賑恤策——朝鮮王朝国家の済州支配と関連して——』『朝鮮学報』第一九三輯(朝鮮学会) 二〇〇四年一月

深出優子

『中国古代の「鄭声」について』『千里山文学論集』第七三号(関西大学大学院文学研究科) 二〇〇五年三月

藤田高夫

『敦煌西塞小考』『関西大学文学論集』第五四巻第三号 二〇〇五年一月
『疏勒河南岸の漢代遺跡』『シルクロード学研究』二二(シルクロード学研究センター) 二〇〇五年三月

共著「デジタル写真による馬園湾遺址3D解析——辺境遺址調査における画像情報活用を試み——」『シルクロード学研究』二二二（シルクロード学研究会）二〇〇五年三月

松浦 章

「清代上海沙船航運業史の研究」（関西大学出版部）二〇〇四年一月
「日本の臺灣統治初期の臺灣帆船について」『史泉』第一〇一号（関西大学史学・地理学会）二〇〇五年一月

森部 豊

「関中涇渠の沿革——歴代渠首の変遷を中心として——」『東洋文化研究』第七号（学習院大学東洋文化研究所）二〇〇五年三月
書評「出土資史料から見直した前近代中央アジアの歴史——『中央アジア出土文物論叢』——」『東方』第二八七号（東方書店）二〇〇五年一月
翻訳 李孝聡「近世以後における中国都市形態史研究」『東アジアの都市史と環境史——新しい世界へ——』（中央大学文学部東洋史研究室）二〇〇五年三月
翻訳 陳弱水「長安の宦官コミュニティに関する研究の構想」『東アジアの都市史と環境史——新しい世界へ——』（中央大学文学部東洋史研究室）二〇〇五年三月

西洋史

中村 仁志

「ヤイーク・カザークの起源説話——グーグニハと18世紀ヤイーク社会——」
『関西大学 文学論集』第五四巻第四号 二〇〇五年三月

大城 道則

「古代エジプト社会における教育について——知識ネットワークの核としての神殿——」『社会科学』第七四号（同志社大学社会科学研究所）二〇〇五年二月

嶋 中博章

「近世フランス貴族のフィデリテ——コリニー伯の回想録から——」『西洋史学』第二二五号（日本西洋史学会）二〇〇五年。

乾 雅幸

「十月革命期におけるヴォルガ・ドイツ人——ヴォルガ・ドイツ人州成立を中心に——」『史泉』第一〇〇号（関西大学史学・地理学会）二〇〇四年七月

比佐 篤

「C・グラックスの管轄地改革——lex Sempronia de provinciisconsularibus をめぐって——」『関学西洋史論集』第二八号（関学西洋史研究会）二〇〇五年三月
「中期共和政ローマの護民官」『古代史年報』第三号（属州研究会）二〇〇五年三月

森本 慶太

研究ノート「スイス永世中立の確立——ウィーン体制における「小国」外交——」『関西大学西洋史論叢』『関西大学西洋史論叢』編集部 第七号 二〇〇四年七月
新刊紹介「美根慶樹『スイス 歴史が生んだ異色の憲法』」『西洋史学』第二二一号（日本西洋史学会）二〇〇三年二月

地理学

高橋 誠 一

「中国冊封使の琉球便りと唐宋久米村」『まほら』第四二号（旅の文化研究所）二〇〇五年一月

「日野町の地域像」『近江日野の歴史 第一巻』所収（日野町）二〇〇五年二月
「秦荘の地理と地域像」『秦荘の歴史 第一巻 古代・中世』所収（秦荘町）二〇〇五年三月

「首里城下町の石敢當」『阡陵』第五〇号（関西大学博物館）二〇〇五年三月

野間 晴雄

「E・S・モースが描く維新期の男と女の位相——博物学者のまなざしとスケッチから——」『関西大学文学論集 第五四卷二号』二〇〇四年一〇月

報告「水田・農民と技術の風土化——通態性のアジア的表出、日本的表出——」『国際シンポジウム 風土と技術の近代 報告書』（関西大学文学部哲学合同研究室）二〇〇五年二月

報告「ベトナムの城と港市」『中国文明のフロンティアゾーンにおける都市的集落の発生とその変容——その比較地誌学的研究（平成一三年度〜一六年度科学研究補助金（基盤研究（A）（2））研究成果報告書 代表 戸祭由美夫）』（奈良女子大学文学部）二〇〇五年三月

山崎 直

書評「病気の地域差をみる——地理学からのアプローチ——」『史泉』第一〇一号（関西大学史学・地理学会）二〇〇五年一月